



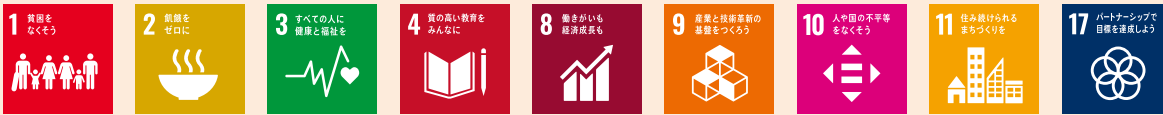
地域社会を元気にする取組み

九州・沖縄では 2030年までに約 **100**万人の 人口減少が見込まれています。

九州では、全国よりも早いペースで人口減少と高齢化が進んでいます。
九州の地場企業である私たちにとっても、
事業を続けていくうえで九州地域の持続的な発展が欠かせません。

※「国立社会保障・人口問題研究所:日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)によると、
九州・沖縄の人口は、2017年の14,450千人に対し、2030年には13,468千人まで減少すると推計されています

関連する主なSDGs



地域の皆さまとともに、 地域社会を元気にします。

九電グループは、地域の皆さまや産官学と連携し、地域社会の課題を解決していくことで、持続可能なコミュニティの創造に挑戦します。

■ 地場産業の活用や交流人口の拡大などを通じた地域の活性化



地域課題の解決に関する
熊本県との包括連携協定



Qでんにぎわい創業プロジェクト
(長崎県東彼杵町)



スマート農業実証試験
(福岡県朝倉市)

■ 地域と一体となった次世代育成の支援、お年寄りにもやさしい社会づくり



IoTによるお年寄りや子どもの見守り事業
(福岡市)



次世代育成に取り組む地域団体への支援



救命医療専用のヘリコプター「ドクターヘリ」

CSR重要課題	KPI(主な管理指標・項目)	2020年度目標	2019年度実績
地場産業の振興と 雇用創出	Qでんにぎわい創業プロジェクト(*) 事業化件数	2件	協業先の公募・決定
九州地域の 交流人口の拡大			
お年寄りや子どもにも やさしい社会への貢献	次世代育成に取り組む地域団体等への 支援(助成団体数)	23団体	23団体

(*) 地域の皆さまと協働し、継続性のあるビジネスモデルを構築することで、地域の課題解決を図るプロジェクト

① 地場産業の活用や交流人口の拡大などを通じた地域の活性化

C S R
重要課題

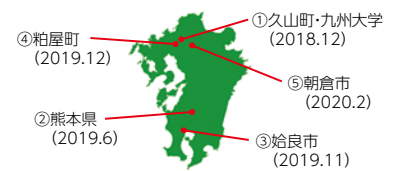
地場産業の振興と雇用創出



●自治体等との連携強化

九州電力(株)は、九州の自治体や学術研究機関との地域課題の解決やまちづくりに関する包括連携協定を通じ、九州地域の社会的課題の解決、持続可能な発展に貢献していきます。

■包括連携協定の締結状況



TOPICS

熊本県との地域課題の解決に関する包括連携協定

2019年6月、九州電力(株)は、産業振興・人口減少社会への対応等、熊本県が抱える課題に県と協働して取り組んで行くことを目的に、包括連携協定を締結しました。

現在、県が進める熊本空港周辺地域の発展に向けた産業振興や企業誘致について、九電グループの技術力やノウハウを活かした取組みを進めています。



●Qでん にぎわい創業プロジェクト

九州電力(株)は、地域の皆さまと協働し、継続性のあるビジネスモデルを構築することで、地域の課題解決を図る「Qでん にぎわい創業プロジェクト」を、2019年7月より開始しました。

本プロジェクトは、「地場産業振興」「商店街活性化」「交流人口拡大」をテーマとして、地域の皆さまと持続可能な地域課題解決ビジネスを企画し、協働で実施していくもので、2019年7月に、事業パートナーの公募を行いました。(37団体から応募)

現在、九州電力(株)・専門家・事業パートナー(長崎県東彼杵町と熊本県人吉市の各1団体)で構成する検討チームを設置し、具体的なビジネスモデルを検討中です。

※制度の詳細は、以下のURLを参照ください。

http://www.kyuden.co.jp/company_local-social_actionplan_index.html

そのぎ茶で有名な東彼杵町



球磨川くんだりで有名な人吉市



～各事業パートナーとの取組みの概要～

活動エリア	長崎県東彼杵町	熊本県人吉市
パートナー	一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社	一般社団法人 ドットリバー
解決に向けて取り組む 地域課題	人口減に加え、若年層は都市部 へ流出	中心市街地の飲食店は減少、 空き家が増加
取組みの概要	「茶」を中心とした商品開発・販 売事業の展開により地場産業 活性化・交流人口拡大を図り、 事業収益を活用した雇用創出・ 創業支援事業により移住定住 を促進	地域の歴史文化(相良藩700年 の文化等)や資源を活用した にぎわい拠点を中心市街地に 創り、新たな人の流れを創出 (回遊性向上)し、空き店舗へ のテナント誘致を促進

●一次産業の活性化

グループ会社のニシム電子工業(株)では、農業向けITセンサー「MIHARAS」(ミハラス)を提供し、農家の省力化等を支援しています。

また、九電産業(株)が運営するインターネット通販サイト「こだわり九州いいものめぐり」では、九州各地の逸品を紹介し、地域物産の振興を後押ししています。



九州各地の逸品を紹介する
「こだわり九州いいものめぐり」

こだわり九州いいものめぐり

検索

TOPICS

スマート農業の普及を目指して、イチゴの栽培実証に取り組んでいます。

九州電力(株)総合研究所では、「農業の省力化や生産性向上につながるスマート農業の普及」を目指した研究に取り組んでおり、その一環として、2019年8月、福岡県朝倉市に実証試験施設「上寺(かみでら)いちご園」を設置しました。

ここでは、これまで培ってきた「農業電化、養液栽培」等に関する技術やノウハウを活用し、「さがほのか」等、人気の品種を栽培しており、2019年11月には、初めて収穫されたいちごの試食会を地元の方々を招いて開催しました。

実証結果が農家の皆さまの生産性向上の一助となり、九州の一次産業の活性化につながることを目指します。



いちご栽培ハウス内



地元の方を招いた試食会

●商店街の活性化

長崎市平和町では、周辺に浦上天主堂や平和公園・爆心地公園といった多くの人が訪れる観光スポットがありながら、来訪者を商店街に集客できていないという課題がありました。

そこで、こうした地域の課題に取り組む地域団体を九州電力(株)がサポートし、商店街に人を呼び込み、賑わいを創出することを目的とした活動を行っています。具体的には、自治体等も巻き込みながら、ワークショップやプロトタイプ事業を行い、様々な地域活性化の取組みを検討・企画しています。

2020年度には、地域団体にて商店街の中心部に地域の方や旅行者の交流の場となるシェアキッチンをオープンし、飲食店開業希望の方への創業支援の場としても活用しながら、平和町に人を呼び込み、賑わいを創出していくこととなりました。

また、今後は地域の方がガイドとなり周辺の観光スポットと商店街を案内するツアー事業や、日本や長崎の文化体験ができる体験プラン事業等も企画・実施し、更に地域の活性化に取り組んでいくこととしています。



ワークショップでの事業検討



観光地と商店街を案内するツアーの試行実施

●観光の振興

九州電力(株)は、電力インフラ(ダム・発電所等)を活用したインフラツーリズムを推進しています。具体的には、地域の名所・観光施設等の訪問に加え、通常時には見学できない自社設備のご案内や設備点検の模擬体験等のプログラムを提供しており、2019年度は、旅行会社とも連携して佐賀・熊本・宮崎県においてツアーを開催しました。また、観光施設等と連携してダムカードも発行しており、大変好評をいただいています。



ダムカード

今後も、電力インフラを観光資源として有効に活用していくことで交流人口の拡大に貢献していきます。



宮崎県上椎葉ダム点検通路歩行体験

TOPICS

九州のインバウンド拡大に貢献します

グループ会社の九電産業(株)では、2020年2月よりインバウンド営業グループを新たに設置し、九州各地の自治体をはじめ、観光関連に携わる地元の皆さまと連携・協業を図りながら、インバウンド関連のプロモーション、コンサルティング、旅行企画販売等を行っています。

中華圏を中心にアジアから欧米まで幅広い国々を対象として実効性の高い誘客活動や持続性のある旅行企画を通じて九州の観光振興に貢献していきます。



●都市開発事業・空港運営事業

〔都市開発事業〕

2018年7月、九州電力(株)を含むコンソーシアムが福岡市青果市場跡地活用事業の事業者として選定され、地域に賑わいを生み出す大型複合商業施設の開業に向けた準備を進めています。

〔空港運営事業〕

九州電力(株)は、他企業との共同での公募選定を経て、福岡空港(2019年4月民間運営開始)及び熊本空港(2020年4月民間運営開始)の運営権を取得しました。今後、国際線を中心に航空ネットワークの拡充を図るとともに空港が新たな賑わいの拠点となるよう様々な取組みを行っていきます。



熊本空港の将来イメージ

TOPICS

都市開発、不動産、社会インフラ各事業の機能を統合し、 「都市開発事業本部」を設置します

九州電力(株)では、都市開発、不動産、社会インフラ(空港運営等)の各事業について、これまで個々の組織で専門性を活かして取り組んできましたが、今後、事業間の連携を強化するとともに、社会動向に迅速かつ的確に対応しながら経営資源を戦略的に投資することで、事業の飛躍的な成長を目指していくため、これらの機能を統合し、2020年7月に「都市開発事業本部」を設置します。

同事業本部において、今後更に総合力を発揮しながら様々な案件に取り組んでいくことにより、皆さまの生活や経済活動を支え、地域・社会の発展に貢献していきます。

●企業誘致

九電グループでは、九州全土を結ぶネットワークを活かして、九州域外からの企業誘致にも積極的に取り組んでおり、九州への進出を検討する企業に対し、ICTサービスの提供や、用地・オフィス確保のお手伝い等、グループの経営資源を活用したサポートを行っています。

特に、九州電力送配電(株)では、各工業団地等への電力供給に関する様々なご相談をお受けするとともに、進出候補地として、自治体の所有する工業団地や自社が保有する遊休地をご紹介します。

今後も、自治体と連携しながら、グループ各社の強みを活かした企業誘致を進めていきます。

九州電力 企業立地

検索

■九州への企業立地のご案内

九州電力(株)ホームページ

② 地域と一体となった次世代育成の支援、お年寄りにもやさしい社会づくり

C S R
重要課題

お年寄りや子どもにもやさしい社会への貢献



●次世代育成支援活動

九電みらい財団は、少子高齢化や共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化等により、子どもたちの育成環境が大きく変化する中、九州の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPO等の諸団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業を実施しています。2019年度は121件の応募があり、選考委員会での選考

を経て、23件の活動に助成しました。

また、それぞれの助成先の素晴らしい活動を広くお知らせすることも助成事業の目的としており、活動を取材し、各団体の活動の様子や活動にかけける思いを九電みらい財団のFacebook等で紹介しています。

【募集した活動】

・子どもたちへの支援活動

体験を通じて、子どもの社会性や協調性、規範意識等を育むこと、及び九州地域を大切にすることの育成を目的とした活動

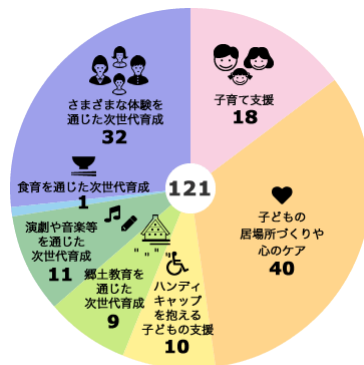
・子育て世帯への支援活動

共働き世帯や非正規雇用の増加、地域のつながりの希薄化等、子育て世帯を取り巻く厳しい状況を緩和することを目的とした活動

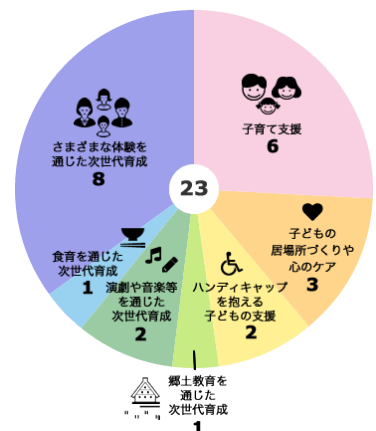


助成団体応募チラシ

2019年度 活動分野別の応募・助成実績



応募件数



助成件数

【2019年度の助成団体】



団体名：さんく(大分)
活動名：さんく
～大人も子どもも人生の主人公に～

子育て講座やワークショップの開催、個別のサポートを通じて、母親の孤独や心理的負担の軽減を図る。



団体名：北九州子育て支援団体 Hummingbird(北九州)
活動名：「料理の基本のキ!」
新米ママの苦手克服お台所

母親の観点から食育を見つめ直すことを目標とし、現代風の「楽(らく)」を取り入れながら、料理の基本を学ぶ講座を展開する。



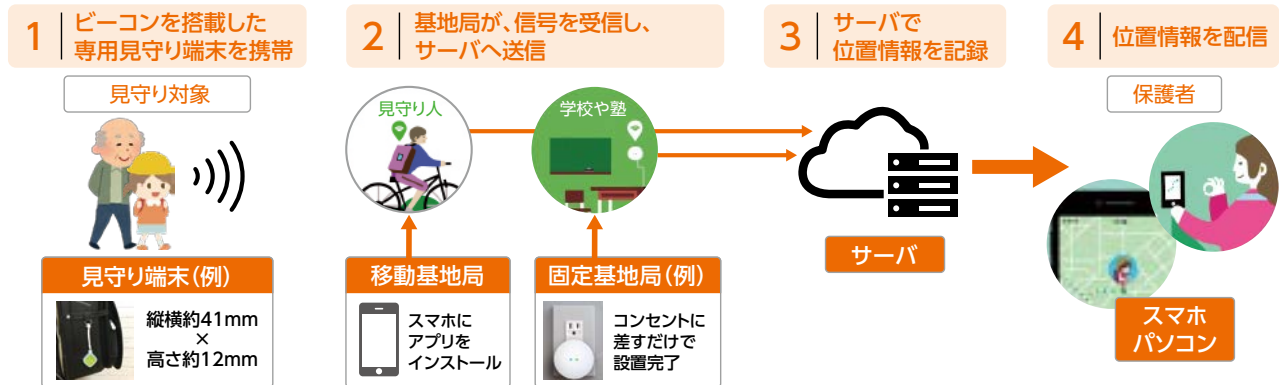
団体名：みくりや駅前元気カフェ(長崎)
活動名：木のぬくもりと地域のあたたかさを感じられるふれあいの場所作り

高校生と高齢者が一緒に、地域の木材を使って幼児用木製遊具を制作することで、住民同士の助け合いや社会参加を促進するための交流の場を作る。

●IoT技術を活用したお年寄りや子どもの見守りサービスを提供しています

九州電力送配電(株)では、九電グループのイノベーションプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」から生まれた新しい見守りサービス「Qottaby(キューオッタバイ)」を、福岡市内の小学校を中心に提供しています。このサービス

は、ビーコン(電波発信機)を搭載した専用見守り端末を携帯する小学生や高齢者等の位置情報を、保護者の方等がスマートフォンやパソコンで確認することができるものです。



●離島医療を支援しています

グループ会社の西日本空輸(株)では、ヘリコプター事業で培った強みを活かし、大小多くの離島を抱える長崎県で、長崎離島医師搬送システム(NIMAS)事業に参画しました。この事業では、移動手段に制約の多い離島医療に従事する医師に対して移動手段を提供することを通じて、離島医療を支援しました。

また、同社は、九州内5県でドクターヘリ事業にも参画しており、消防機関等からの出動要請に基づき、重篤患者が発生した現場に医師を迅速に送り込み、救命医療を支援しています。



救命医療専用のヘリコプター「ドクターヘリ」

特集

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う 影響を踏まえた様々な取り組み



九電グループでは、九州の地場企業として、地域の諸課題に対し地域の皆さまとともに助け合いの輪を広げていく「あしたプロジェクト～あしたを、しんじて、たすけあおう～」を展開し、医療関係者や生産者・事業者等を支援する様々な活動に取り組んでいます。

医療関係者の支援

【マスクの寄贈】

医療現場において、高機能のマスクが不足している状況を踏まえ、感染拡大防止に貢献したいとの思いから、4月30日及び5月1日に、九州電力(株)が備蓄するN95マスク計14万枚を九州各県に寄贈しました。

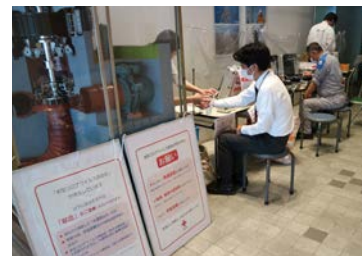
県担当者の方等からは「非常にありがたい。できるだけ速やかに医療現場に配布したい」といった感謝の言葉をいただきました。



【献血への協力】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、献血協力者が大きく減少しているという状況を踏まえ、宮崎支社では、宮崎県赤十字血液センターと連携し、4月21日に臨時で献血バスの受入れを行い、九電グループの従業員等64名が献血に協力しました。

宮崎県赤十字血液センターからは「献血協力者の深刻な減少が続く中、ご協力いただきありがとうございました」との感謝の言葉をいただきました。



【フライデーオベーション】

新型コロナウイルス対策の最前線で働く医療・介護関係者、そして命を支えてくれるすべての皆さまに感謝の拍手を贈る「フライデーオベーション」を複数の職場で協力して実施しました。





※「あしたプロジェクト～あしたを、しんじて、たすけあおう～」の
詳細は、九州電力(株)ホームページをご確認ください。

<http://www.kyuden.co.jp/ashita-project.html>

また、各取組みについては、随時、九電グループ公式Facebook等でも紹介しています

生産者や事業者の支援

【生花の購入】

各種イベントが中止・縮小され切り花需要が落ち込む中、花の購入を通じて花の生産者を応援する活動「フラワー＊フライデー」を、4月以降九州各地で展開しています。(詳細は、P33のTOPICSに掲載しています)



【九州特産品等の紹介】

新型コロナウイルス感染症による影響を受けている生産者や事業者の方々を応援するために、九電グループ公式Facebookで、九州各県の特産品を紹介する等、販売支援を行っています。



【360度パノラマVRサービスの一部無償提供】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、企業が対面での営業活動等を自粛している状況を踏まえ、5月20日から期間限定で、九電ドローンサービスの「360度パノラマVRサービス」において「無償提供特別プラン」を展開しています。

※ドローン空撮・パノラマ撮影、当社でのコンテンツ編集費用は別途発生



【九州応援Qピコ^(*)キャンペーン】

地元の生産者や事業者の方々を支援し、九州を元気にしていくための取組みとして、九州7県の特産品があたる「九州応援Qピコキャンペーン」を5月に実施しました。



(*)「キレイライフプラス」会員登録や毎月のご使用量等に応じてポイントが貯まる九州電力(株)のポイントサービス

在宅者への支援

在宅を余儀なくされているお子さまや家族向けに、家族で楽しめて元気になる、「お子さま向け学びと遊び」「簡単料理レシピ」「リラックス・癒し」の 카테고리의動画をYou Tube (Kyuden Channel) で配信しています。

(配信動画例) ・環境紙芝居及び紙人形劇

- ・森の役割のお話や実験、木の枝を使った工作
- ・グループ会社「Q-CAP」によるパーパークラフト講座
- ・九州の郷土料理のレシピ
- ・コーヒー、日本茶、炭酸の楽しみ方



電気料金等の支払期日等を延長する特別措置

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等でお困りのお客さま等を対象に、電気・ガス料金[九州電力(株)]及び託送・電気料金[九州電力送配電(株)]の支払期日等を延長する特別措置を実施しました。

九電グループでは、これからも、新型コロナウイルス感染症に伴う様々な課題を的確に捉え、その課題解決に向けて地域の皆さまとともに取り組んでいきます。